

ウポイ
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間紋別市
Mombetsu City令和6年11月5日
網走開発建設部
紋別市

「紋別港港町地区屋根付き岸壁供用式典」を開催

紋別港港町地区において整備を進めてきた紋別港港町地区屋根付き岸壁が本年10月に完成したことから、供用式典を紋別市と網走開発建設部により開催します。

なお、本施設は平成29年5月に、紋別港を含む道内の6港湾管理者が策定した「農水産物輸出促進計画」（国土交通省認定）【別紙1】に基づき、海外への輸出促進を図るものとして整備しております。

<事業の目的>

紋別港における令和4年の水産物の生産額は約147億円であり、そのうちホタテは約82億円を占め、全国有数の産地となっています。ホタテをはじめとした水産物を水揚げする際の品質・衛生管理の強化や就労環境の改善に資する屋根付き岸壁を整備し、紋別産水産品の更なる輸出促進を期待するものです【別紙2】。

<式典の概要>

- 開催日時：令和6年11月17日（日）9：30～（1時間程度）
- 開催場所：紋別漁業協同組合 会議室3階（紋別市港町6丁目5番2号）
- 主催：紋別市、網走開発建設部
- その他：取材を希望される場合は【別紙3】取材申込書にてお申し込みください。
また、天候等により式典を中止する場合がございますのでご了承ください。

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 網走開発建設部

築港課長 小松 勝久（電話 0152-44-6581）

紋別港湾事務所 工務課長 丸山 修治（電話 0158-23-5281）

網走開発建設部HP <https://www.hkd.mlit.go.jp/ab/>

紋別市港湾課 課長 熊谷 聡（電話 0158-24-2828）



【別紙1】農水産物輸出促進計画(北海道)の概要

- 北海道の農水産品・食品の輸出額は年々増加しており、令和5年は788億円(H24比で約2.2倍)に拡大。
- 新たな輸出成長分野として見込まれる農水産物の輸出増加に対応するため、国土交通省は輸出に戦略的に取り組む港湾において、農水産物の輸出促進に資する施設の整備を支援し、輸出促進を図る制度を創設。
- 平成29年5月、紋別港を含む道内の6港湾管理者らが策定した「農水産物輸出促進計画」が、全国で初めて国土交通省から認定。海外への輸出促進を図るため、輸出拠点港湾においては小口積替円滑化支援施設等、連携水揚港湾においては屋根付き岸壁等の整備を進めてきた。

農水産物輸出促進計画(北海道)の概要



【屋根付き岸壁の整備効果】



連携水揚港湾



例) 屋根付き岸壁の整備(直轄)

輸出販路
拡大

魚価 UP

ブランド力UP

農産品
(米・野菜等)

輸出拠点港湾



例) 小口積替円滑化支援施設整備(補助)



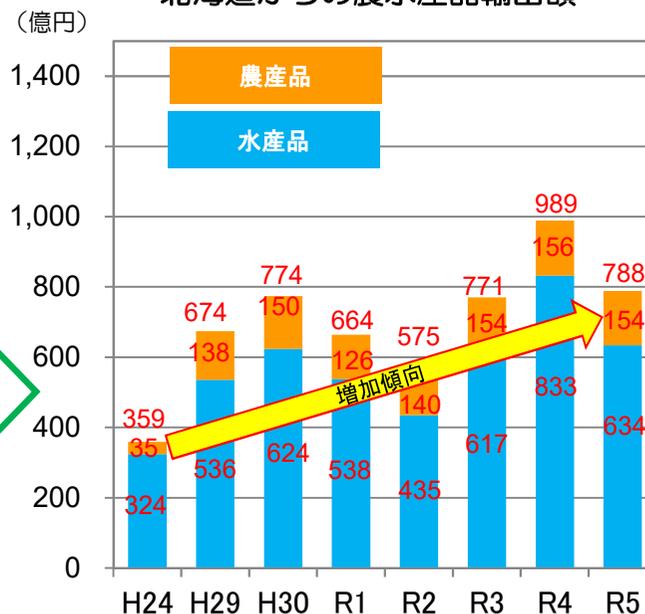
例) リーファーコンテナ電源供給装置整備(補助)

小口積替円滑化支援施設

リーファーコンテナ電源供給装置

海外へ輸出

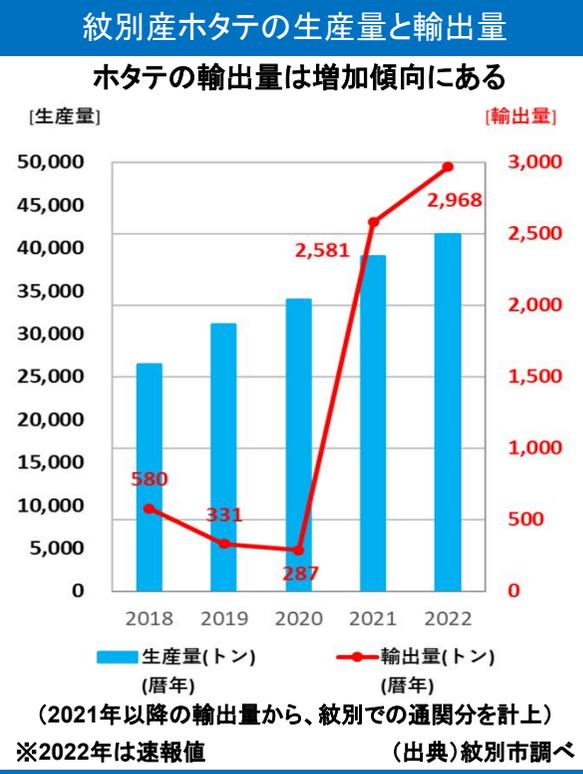
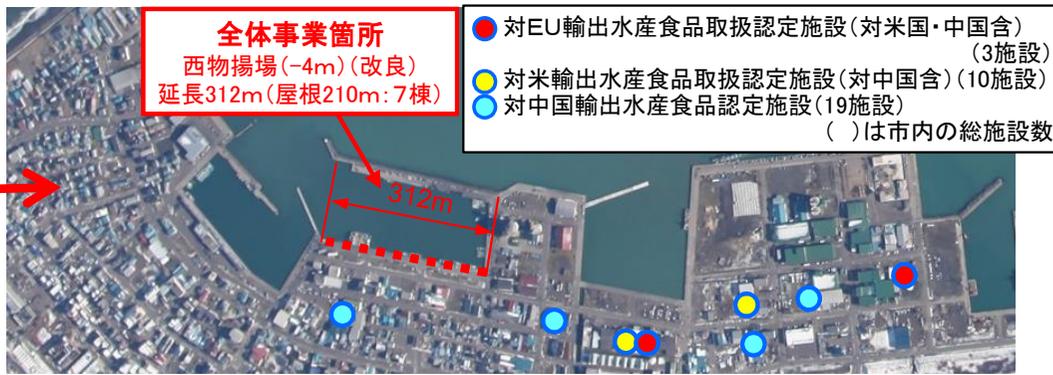
北海道からの農水産品輸出額



2030年の農林水産物・食品の輸出額
5兆円の政府目標達成に貢献

【別紙2】紋別港 農水産物輸出促進に向けた屋根付き岸壁の整備

- 紋別港の水産物の2022年の生産量は8.3万トン(約147億円)。特にホタテは4.2万トン(82億円)を取り扱う全国有数の産地。
- 紋別産水産品の更なる輸出促進及び品質・衛生管理の強化に資する屋根付き岸壁が完成(令和6年10月)。
- 紋別市内の水産加工場では、EU-HACCP(2者3施設)等の各国の水産食品取扱認定の取得が進められており、水産物輸出拡大にむけて、地域一丸となった取組が進められている。



- 鳥のフン害や異物混入、日射等を防ぐことで水産品の品質を確保
- 風や雪を防ぐことで、施設利用者の就労環境が改善
- (計画的な老朽化対策の実施)物揚場施設が延命化

**高品質な水産品の効率的な流通体制の確保により
水産品の輸出拡大に貢献**